スクールプログラム 2010

丸亀市立 城坤小学校

さぬきの教員 かかわりの3訓

本校の生徒指導目標(校長の方針)

『自立への教育』

一 伝え合う力の育成を通して -

伝え合う力を育成し、生徒指導の機能を生かした授業 づくり・仲間づくりを推進することで、児童一人一人の自 立を目指す。

共通理解

○職員会議での生徒指導主事による周知

児童・教師・保護者へのアンケートと点検項 目のチェックから, 生徒指導推進委員会で学校 のよさや課題、児童の実態や課題・変容等につ ていて考察、それらに対する対応を考え、職員 会議で全教員へ生徒指導主事から周知を行う。

〇児童の特性に応じたかかわり方の研修

校内研修の時間に、感情がコントロールでき なくなる子の特性を理解し、高ぶったときの対 応や日頃のかかわり方について全教員で研修す

実態把握

○点検項目やアンケートを活用した評価

年2回全教員対象に「問題行動の未然防止に 向けた点検項目」と「教師アンケート」を実施 し、生徒指導推進委員会で集計・分析する。

〇アンケート、情報交換会による児童理解

年2回児童全員に対して「心のアンケート」 を実施し、児童の実態把握に努める。生徒指導 推進委員会で集計・分析する。また、生徒指導 についての情報交換会を開催する。

検証改善プラン

共感的に受け止め

温かい教師

よく見て、よく聞いて、児童の心とその背 景等児童理解を進める。

② チームの力で

理解し、助け合う教師

全職員で、全児童を見守っていくために、 常に情報交換と話合いと相談を進める。

毅然と粘り強く

ぶれない教師

<mark>「誰もが</mark> 誰に対しても 同じ指導を 最後まで」共通理解と共通実践を進める。

教育活動プラン

活躍できる

○授業での話合い活動の推進

「伝え合う力」を中心に、共感的な人 間関係の中で、自己存在感を得ることの できる授業を目指し、授業での学び合い の場面で、お互いの考えや思いを伝え合 う話合い活動を取り入れる。

安心して自分を表現できる

○全ての教科で話す・聞く力の向上

学級活動の話合い活動を充実させ、国 語科で話し方や話合いの基本を身に付け させる。すべての教科において、話し手 を見て聞くこと、異なった意見や誤答を 尊重することを大切にする。

かかわり方を身に付ける

○話合い活動におけるスキルの習得

話合い活動の充実に向け、ことばを通して 自分の考えを的確に伝えるための話す・聞く を中心としたスキルや、話合いのルールづく り、さらには相手を尊重し理解しようとする 小を育てる。

人とつながる

〇異学年交流など交流活動の工夫

参加体験型学習等を取り入れ、人間関係づ くりを進めたり、異学年交流や行事等を通し て、自尊感情を高めたり、自己存在感をもた せたりする。教科においても交流活動を取り 入れ、かかわり合うことのよさを体感させる。

主体的に生活をつくる

○話合いを通しての仲間づくり

特別活動を中心に、互いのよさを認め合い、 励まし合って生きることの大切さを学ぶため に、学級活動や児童会活動の年間活動計画の中 に、伝え合う力を発揮する場として話合いやか かわり合いの場面を意識して位置付ける。

自分を見つめ生き方を考える

Oすてきな生き方と出会う場づくり

優れた生き方のモデルとなる地域の方や夢 を実現させたスポーツ選手、芸術家などに実 演と講話をしていただき、児童が自らの生き 方を考える機会とする。

■ わかる授業づくりに努めるとともに、「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」「自己決定の場を与える」といった視点から教育活動を改善する

生徒指導担当教員を中心に教職員等が役割の連携を図り、組織的・機能的な生徒指導体制・教育相談体制を構築する

○生徒指導推進委員会の編成

生徒指導推進委員会を編成して、各学年 から出た問題行動の実態を分析した上で、 各教科や特別活動、道徳においてどのよう な取組をするか、生徒指導主事の提案をも とに話し合う。

生徒指導をコーディネートする 上記の教育活動を推進する

〇現職教育3部会との関連を図る

現職教育の3部会「確かな学力部会」「豊 かな心部会」「健やかな体部会」で、各教科 での話合いや学級会や児童会の進め方など について具体的な取組を話し合い、 全教員 の共通理解を図る。

個別のサポートをする

〇サポートチーム編成の工夫

問題行動発生時には、生徒指導主事が中 心になり、学年団や管理職、養護教諭など に情報を迅速に伝え、対応について共通理 解を図り、チームで対応し、担任の抱え込 みを防ぐとともに早期解決を目指す。

指導体制プラン

「豊かな心で共に生き、未来を拓く子どもの育成」 教育目標

検証改善プラン

教職員の共通理解と共通実践に向けて

アンケートや点検 析し、課題や変容 丁 等を明確にする。

生徒指導に関する計画 企画・立案を行い、提 くくなっている。

終礼や職員会における児童情報交 項目等の結果を分 山 の作成や具体的方策の 山 換や問題行動や対応の確認をした り、現職教育の中での生徒指導に 関する研修を進めたりする。

学校の実態把握

「問題行動の未然防止に向けた点検項 目」についての点検や教師アンケート を実施し、生徒指導の目標や校内の指 導体制・教育課程等について実態把握 を行う。

児童や地域の実態把握

心のアンケートや学校評価アンケート を実施し、児童の実態把握を行う。ま た、観察や聞き取り等様々な方法で、 児童や保護者・地域の実態把握に努め

教育活動プラン

生徒指導の3機能を生かした学びに向かう集団づくり

授業づくり

各教科での

話合い活動を中心に

- 自信をもたせる授業
- コミュニケーションの能力を はぐくむ授業
- 一人一人の実態に応じた授業

伝え合う力

で心 ば

特別活動を中心

とした取組 (学級活動 ·児童会)

○ 帰属意識の高い学級づくり

仲間づくり

- 互いに高め合える学級づくり
- 規範意識の高い学級づくり

現職教育における研究推進(3部会)

閒

確かな学力 部会

○教育活動プラン (授業づくり)の推進

- ○各教科において、伝 える力を育成するた めの話し合い活動の 推進
- ○学習状況調査の分析

豊かな心部会

- ○教育活動プラン (仲間づくり) の推進
- ○学級会のもち方や児 童会との連携など、 特別活動についての 企画・立案
- ○アンケートの実施

健やかな体 部会

- ○基本的生活習慣の確
- ○体力つくり,健康な体 についての企画・立案 ○仲間づくりのための

体育的行事の推進

すべては、子どものために

校長

教頭

生徒指導 推進委員会

校長, 教頭, 生徒指導 主事, 学年主任, 養護 教諭, 人権・同和教育 主任, 特別活動主任, 特別支援コーディネー ター、現職教育3部会 リーダー

- 〇生徒指導に関する 具体的方策の企 画・立案
- 重点指導項目の検討
- ・3部会による取組の 内容
- ○児童や学校の取組 の状況分析・評価
- ・学校評価における生 徒指導に関する内 容の分析
- ・3 部会による取組の 分析
- 〇小学校問題行動等 防止プログラム調 香研究の推進
- ・アンケートの作成
- ・改善点の検討

生徒指導主事

- ○生徒指導に関する 計画作成と実施
- ・年間重点目標, 月目 標等の作成
- ・職員研修
- · 教育相談活動

○児童への常時指導

- ・講話による指導
- ・巡視による指導
- ○問題発生時等の対
- ・関係職員との連携
- ・ケース会議
- ・管理職への報告、連 絡、相談
- ○異校種・関係機関と の連携
- · 各種行政機関等
- ○家庭・地域への発信
- ○生徒指導に関する 評価活動
- ・課題の洗い出しと改 善点の検討

指導体制プラン

- ・生徒指導主事を核として
- ・学級担任へのサポートを中心に

個別のサポート

- ○生徒指導上の課題のある子どもへの生徒指導主事や特別支援 コーディネーターを中心とした対応
- ・問題行動
- ・特別に支援の必要な子ども
- ・発達障害 等
- 〇生徒指導上の課題のある子どもに関するケース会議
- ・SC や巡回相談員を活用した状況分析と指導・支援策の検討 等
- ○関係機関の紹介とアフターフォロー
- ・善通寺小児病院や精神科医などの関係医療機関
- · 丸亀市適応指導教室 等

職員研修

- ○講師招聘による研修
- ・大学教授(臨床心理士)による発達障害
- ・SC によるカウンセリングの基本
- ・特別支援コーディネーターによる児童への個別のかかわり方等
- ○校内研究授業と研究討議
- ・各教科における学習規律、話合い活動の推進
- ・学級会における話合いの基本形、ルールづくり
- ○具体事案による研修
- ・事案の概要及び対応策と結果の報告

家庭や地域、関係機関との連携

- ○情報発信
- ・学校だより、PTA の諸行事 等
- 〇小中連携
- ・教員交流,生徒指導主事による情報交換
- ○関係機関
- ・中学校、幼稚園、保育所、城坤コミュニティ、丸亀市児童課、 丸亀市少年育成センター、丸亀警察署生活安全課、西部子ども 相談センター 等